



# 平和首長会議ニュース

2017年11月 / 第95号

## 平和首長会議加盟都市数

162 各国・地域 7,469 自治体

日本国内加盟自治体数：1,691

(2017年11月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

### <<今号の内容>>

- 小溝事務総長がボルゴグラード市とジュネーブ市を訪問
- オバマ財団サミットに平和首長会議スタッフが出席
- 平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- 加盟都市の活動紹介
- 平和首長会議情報システムについてのご案内
- 10月の平和首長会議会長訪問
- 平和首長会議加盟自治体数: 162 各国・地域 7,469 自治体

## ■小溝事務総長がボルゴグラード市とジュネーブ市を訪問

[10月14日~21日]

小溝事務総長は、平和首長会議加盟都市との連携強化を目的として、先月ロシア・ボルゴグラード市とスイス・ジュネーブ市を訪問しました。

平和首長会議の副会長都市であり同国におけるリーダー都市を務めるボルゴグラード市では、コソラポフ市長と面会し、平和首長会議の新たな行動計画に沿って同国における活動を一層強化していただくよう依頼するとともに、加盟都市の拡大についても協力を依頼しました。また、ボルゴグラード州立大学を訪問し、平和首長会議が普及促進に努めている「広島・長崎講座」について紹介し、開講検討を依頼しました。

続いて訪問したジュネーブ市では、平和首長会議加盟都市である同市の担当者と今後の連携強化について協議するとともに、同市の核軍縮に携わる要人や関係団体を訪問し、核兵器禁止条約の早期締結に向けて連携していくことを確認しました。

両市訪問中の小溝事務総長の活動の詳細については、以下のリンクをご覧ください。



ボルゴグラード市長に折鶴を手渡す  
小溝事務総長

▼小溝事務総長が平和首長会議加盟都市との連携強化等のためロシア・スイスを訪問(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/history/2020\\_2011/2017\\_10\\_gallery.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/history/2020_2011/2017_10_gallery.html)

=====  
**■「オバマ財団サミット」に平和首長会議スタッフが出席**

[10月31日・11月1日 米国イリノイ州シカゴ市]

=====  
10月31日・11月1日の2日間、シカゴ市で開催された「オバマ財団サミット」に、平和首長会議の広島事務局スタッフが出席しました。

このサミットは、様々な分野でリーダーとしての役割を担う米国及び世界各国60カ国の若者約500人が、21世紀の活動的な市民のあり方などについて意見交換を行い、共通課題に対する解決策を考えることを通じて、国を超えた若いリーダーの人的ネットワークを構築することを目的として開催されたものです。

平和首長会議の事務局を務める(公財)広島平和文化センターは、2016年12月以降、オバマ財団関係者との面会等を通じ、今後の連携について協議を続けており、今回も両財団の連携の一環として職員を派遣することとなりました。

(公財)広島平和文化センターの若手スタッフを代表し、国際部平和連帯推進課の職員が本サミットに出席し、世界の若い市民リーダーとの意見交換を行うとともに、平和首長会議の取組について紹介し、今後の活動に対する理解と協力を求めました。

▼「オバマ財団サミット」に平和首長会議スタッフが出席(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/history/2020\\_2011/2017\\_10\\_gallery2.html](http://www.mayorsforpeace.org/jp/history/2020_2011/2017_10_gallery2.html)

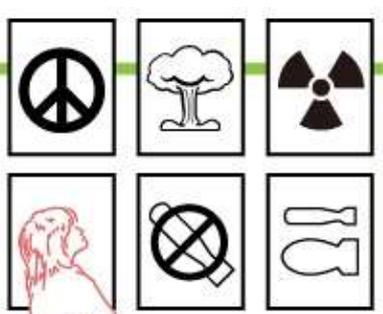
=====  
**■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください**

=====  
本年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この計画に基づいて、核兵器のない世界の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の実施にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th\\_meeting/Action\\_Plan\\_2017-2020\\_J.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf)

【取組事例】

		
<p><b>「核兵器禁止条約」の 早期締結を求める署名活動に 取り組んでください</b></p>	<p><b>被爆樹木二世の苗木を 育ててください</b></p>	<p><b>平和首長会議原爆ポスター展を 開催しましょう</b></p>

=====

## ■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第 37 回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====

ノーベル平和賞の授賞式が、12月10日にノルウェーのオスロで開かれます。核兵器廃絶国際キャンペーン(ICAN)に授与されるのに合わせ、日本からは長崎で被爆した田中熙巳(たなか・てるみ)さんと、広島で被爆した藤森俊希さんらが出席します。カナダ在住で広島出身の被爆者サーロー節子さんも出席し、式典で演説を予定しています。核兵器の廃絶を求める被爆地の声が世界に届くことを期待しています。

同時に、広島・長崎以外の「ヒバクシャ」にも目を向けたいものです。ICANのベアトリス・フィン事務局長は、平和賞決定後の記者会見で「この賞は広島の被爆者、世界中の核実験の被害者のためのもの」と語りました。授賞式には、オーストラリアとマーシャル諸島の核実験被害者も参加予定です。

7月に生まれた核兵器禁止条約は、その前文で核兵器使用の被害者だけでなく核実験の被害者の受け入れ難い苦痛にも言及しました。国連における条約制定交渉を後押しした国の一つが、マーシャル諸島です。1946年から12年間に米国による核実験が繰り返され、大きな被害を受けた島国です。被害者としての訴えが、これまで国際社会に大きな影響を与えてきました。

マーシャル諸島は首都マジュロとビキニ環礁の2都市が、平和首長会議に加盟しています。小溝泰義(こみぞ・やすよし)事務総長も2014年に訪問しました。条約の発効に向け、これまでに以上にヒロシマ・ナガサキが手を携えていくべきではないでしょうか。

関連記事は次のアドレスで読めます

○田中氏・藤森氏出席 ノーベル平和賞授賞式

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=77759>

○核廃絶決議 ヒロシマ 落胆の声

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=77648>

○原爆資料館 被爆資料貸与を検討 ノーベル平和賞紹介施設へ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=77528>

○被爆者の思い伝わった ICAN委員の川崎さん

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=77231>

○島国の挑戦 被爆地問う マーシャル諸島

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=76636>

=====

## ■加盟都市の活動紹介

=====

\*英国・マンチェスター市

市内の小学生を対象に平和のワークショップを実施

平和首長会議の副会長都市であり、英国におけるリーダー都市であるマンチェスター市は、広島で被爆したイチョウの種を平和のシンボルとして育て、市内の小学生に広島原爆と復興について学んでもらう企画「プロジェクトG」に取り組んでいます。同プロジェクトの一環として、10月18日、市内3つの小学校の児童を対象にワークショップが行われました。子どもたちは、それぞれの学校で今後自分たちが取り組みたいと思う平和活動についてアイデアを出し合いました。来春には、各校における平和活動計画の詳細について、子どもたち自らがマンチェスター市長やマンチェスター大学関係者に発表する予定です。

▼10月18日のワークショップほか、10月にマンチェスター市で実施された平和活動について(英語、平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/english/whatsnew/activity/171108\\_Manchester\\_events.html](http://www.mayorsforpeace.org/english/whatsnew/activity/171108_Manchester_events.html)

<<貴自治体の平和活動の情報をお知らせください>>

平和首長会議事務局では、新しい行動計画に盛り込まれている平和教育や平和文化等に関する行事実施の情報を募集しています。平和首長会議ウェブサイトの「加盟都市の活動」コーナーでご紹介しますので、記事のタイトル、英語版の有無、リンク先等の詳細を、次のアドレスにご連絡ください。

▼Eメール: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)

海外加盟都市の平和首長会議行動計画に基づく取組に関する情報を、以下のリンクからご覧いただけます。

▼平和首長会議行動計画に基づく取組実施都市等一覧(海外)(11月10日現在)(平和首長会議ウェブサイト):

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03\\_newmembers/2017\\_List\\_of\\_Activities\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2017_List_of_Activities_jp.pdf)

=====

### ■平和首長会議情報システムについてのご案内

=====

平和首長会議では、加盟自治体間の情報共有促進を目的として、「平和首長会議情報システム」を運用しています。このシステムを利用して、各加盟自治体の情報の検索、各自治体の情報の更新等をしていただくことが可能です。平和首長会議の活動のために本システムを積極的に利用していただければ幸いです。

なお、首長や担当者の氏名・連絡先等、システムに登録している情報に変更が生じた場合は、平和首長会議事務局に修正依頼するのではなく、本システムにログインし、速やかに修正してください。ログインID等が不明の場合は、メールにてお問合せください。各自治体の情報を常に最新のものに更新していただきますようお願いいたします。

▼システムの URL: <https://www.mfpinfosys.org/>

平和首長会議情報システムに関するご質問等があれば、次のアドレスにお問い合わせください。

▼Eメール: [mfpssystem@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mfpssystem@pcf.city.hiroshima.jp)

=====

### ■10月の平和首長会議会長訪問

=====

松井一寛広島市長・平和首長会議会長は、10月に次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

\*10月31日(火)イゴル・ツルナダク ポスニア・ヘルツェゴビナ外務大臣

=====

### ■平和首長会議加盟自治体数: 162カ国・地域 7,469自治体

=====

今月新たに16自治体が加盟し、平和首長会議の加盟自治体数は11月1日現在で7,469(162カ国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

日本国内では、4自治体が加盟し、国内加盟数は1,691(加盟率97.1%)となりました。

海外については、副会長都市であり同国におけるリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、ドイツの5自治体が加盟しました。また、エクアドル自治体協会の呼び掛けにより、同国の3自治体が加盟しました。また、本年8月に広島市を訪れた駐日キルギス共和国特命全権大使の呼び掛けにより、同国の2自治体が加盟しました。この他、オランダ、スペインから各1自治体が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

▼11月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

[http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03\\_newmembers/2017/newmembers1711\\_jp.pdf](http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2017/newmembers1711_jp.pdf)

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

\*\*\*本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください\*\*\*

**平和首長会議事務局**

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

Eメール: [mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp](mailto:mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp)